

石井先生の

脳卒中片麻痺における 動作分析の極意

講座コード
R-253

歩行分析編

効率的な動作獲得につなげる“活きた”評価の行い方



日時: 2026年6月22日(月) 19:00~21:00
会場: インターネット生ライブ中継
講師: 石井 慎一郎 先生 (国際医療福祉大学大学院)
対象: PT・OT・ST・看護師 (左記以外も受講可)
受講料: 会員 5,400円(税込) 一般 6,400円(税込)

見逃し受講期間
2週間あり
永久保存版
PDFスライド付

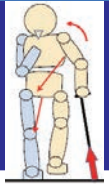
今、会員になると
年会費 4,900円が無料
実質 5,900円割引!

目的のない
動作分析の繰り返しに
ギモンを感じて
いませんか?

動作分析は重要と学生時代から言われているけれど、目的の無い動作分析の繰り返しにイヤ気がさしていませんか? そんな状況に、動作のプロ石井先生が喝! この講座では、特に臨床で悩む片麻痺患者の「歩行」をベースに、ADLアップに直結する分析方法を徹底解説。動画・実演で動作メカニズムを理解した上で、動作障害の要因を探り、アプローチにつなげる“活きた動作分析”を学びます。



歩行獲得に活かす動作分析 ～重心とバイオメカニクスのみかた～



ヒトの歩行運動パターンの特徴と動作を可能にするメカニズムである、3つのRocker機能の役割を徹底解説。動作のメカニズムの評価として、Heel Rocker機能、Ankle Rocker機能、Forefoot Rocker機能それぞれについて評価していき、さらに動作のメカニズムを阻害する原因を推論するためのアセスメントを伝授します。

- 片麻痺患者における歩行の特徴
～3つのバイオメカニクス～
- Heel Rocker機能の評価と
踵接地時のアライメントのみかた
- 起立動作時の足部一下腿アライメント
下肢の動きと反射のメカニズム
- 非荷重位における Screw Home Movement
の評価と脛骨上での大腿骨の内旋
- 狭くなる支持基底面の中での重心制御
～遊脚と立脚の円滑な切り替えに必要な神経機構～
- 股関節と足部の協調的な重心移動の分析法
- バイオメカニクス的にBack Kneeはこうみる! 荷重線と筋活動をアプローチに落とし込む技 ほか

全2講座シリーズ受講もできます



6月8日(月)
基本動作編

クーポン
1,000円分
プレゼント!

会員のみ
30名
限定

各講座の詳細は
HPをご覧ください。



※これらの各講座は離床アドバイザー取得コースの特技 0.5 単位・学会認定資格更新 5 ポイントを取得することができます。

応募方法

ホームページより
オンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に!

日本離床学会

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683 Eメール jsea@rishou.org

